



大好評視察セミナーを大幅リニューアルして開催！
最先端機器を多数導入&研究開発を行なう(社福)善光会から学ぶ！

[介護ロボット]の 導入&活用手法【視察研究】

- サンタフェガーデンヒルズ(東京・蒲田)にて機器導入・活用の現場を視察
- ICT機器導入をご検討の方必聴! 本当に使える機器の選定手法を開示
- 導入はしたが使いこなせない…「スマート介護士」取得で適切な運用を
- 実際の成功&失敗事例をもとに自施設での運用イメージを明確に描く

ご 案 内

介護現場の人材不足や高齢者の自立支援などを背景として、国は介護ロボットやIoT・ICT機器の普及を急いでいます。さまざまな機器が開発され、徐々に市場規模は拡大しているものの、まだ現場レベルで普及・定着しているとは言い難いのが実情です。

機器の導入・活用においては、費用や運用する人材教育などの課題が山積していますが、有用な機器を適切な場面で活用できれば、確かな費用対効果を得られる可能性は大いにあります。そのためには自施設にふさわしい機器を見極めるとともに、最大限に効果を発揮するための人材育成が欠かせません。

社会福祉法人善光会では、業界に先駆けて施設への機器導入および共同開発に取り組み、スタッフの業務負担軽減と生産性向上などの効果を上げています。さらに直近では機器運用による質の向上と業務効率化の専門資格「スマート介護士」を創設するなど、テクノロジーによる介護業界の改革を先導する存在となっています。

本セミナーでは、善光会の最高執行責任者 宮本隆史氏と善光会のシンクタンク・コンサルティング機関であるサンタフェ総合研究所 所長 松村昌哉氏より、介護ロボット・ICT・IoT機器活用による施設のレベルアップ手法を具体的に指南。さらに同法人の複合施設「サンタフェガーデンヒルズ」を視察し、介護ロボット活用の実際を学んでまいります。

日 時 2019年2月18日(月) 13:00～17:00

会 場 サンタフェガーデンヒルズ

東京都大田区東糀谷6-4-17

※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参 加 費 43,200円(1名様につき)
(消費税及び地方消費税3,200円を含む)

● 同一申込書にて2名様以上参加の場合

38,880円(1名様につき)

(消費税及び地方消費税2,880円を含む)

主 催 総合ユニコム株式会社

■シニアビジネスマーケット

〒104-0031

東京都中央区京橋2-10-2 め利彦ビル南館6階

TEL. 03-3563-0025(代表)

ダイレクトメールの送付先変更・中止をご希望者は、お手数ですが、封筒ラベルにご要件を記入の上、弊社企画事業部(FAX.03-3564-2560)迄ご連絡ください。

※弊社ホームページからも、本セミナーはお申込みいただけます！
<https://www.sogo-unicom.co.jp>

お申込み先 ▶ FAXフリーダイヤル ☎ 0120-05-2560

※FAXフリーダイヤル不通時はFAX.03-3564-2560迄おかけ直してください。

お問合せ先 ▶ 総合ユニコム(株) 企画事業部 TEL.03-3563-0099(直通)

●お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証/請求書/銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名前1枚」と共にお渡し願います。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名前1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX(03-3564-2560)にて必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ・ご記入いただいた個人情報、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

参 加 申 込 書

[介護ロボット]の導入&活用手法【視察研究】

●会社名(フリガナ)		●貴社業種	
●所在地(〒)		●振込予定日(月 日)	
		●当日現金支払い希望… ☐	
		●ご担当者名()	
TEL. ()		FAX. ()	
●出席者名①(フリガナ)		●所属部署・役職名	
●E-MAIL			
●出席者名②(フリガナ)		●所属部署・役職名	
●E-MAIL			

「介護ロボット」の導入&活用手法【視察研究】

セミナープログラム

講師プロフィール

13:00～14:00 [第Ⅰ講座]

社会福祉法人善光会 サンタフェ総合研究所の
テクノロジー活用による介護現場改革への取り組み

I. 善光会の概要とビジョン

- コンサルティング機関「サンタフェ総合研究所」の設立
- 介護ロボット・ICT・IoT機器導入の重要性

II. 業界への介護ロボット普及への取り組み

- 介護ロボット・ICT機器で質の向上と業務効率化を図る専門資格
「スマート介護士」の創設
- メーカー、ベンダーを超えて、すべての介護関係者が連携できるプラットフォーム
「SCOP」の開発

III. 今後の展望

IV. 質疑応答

14:10～15:50 [第Ⅱ講座]

実際の導入・活用におけるポイントと具体的事例

I. 機器導入のフローと活用のポイント

- 現状の把握と課題抽出
——改善すべき業務の特定、業務の「見える化」と業務プロセスの分解
- 課題に対する解決策の立案
- 機器選定のポイント——各機器の評価手法と費用対効果
- 運用における人材採用・育成のポイント

II. 機器導入の成功&失敗事例

- 見守り、排泄、入浴、移乗など重要度の高いケース別に導入すべき機器を紹介

III. 現状の課題と解決に向けて

IV. 質疑応答

16:00～17:00 [視察研究]

複合施設「サンタフェ ガーデンヒルズ」

- 介護ロボット・ICT・IoT機器を実際に活用している特別養護老人ホーム等の現場を視察いたします。より具体的に機器導入・運用のイメージを把握いただけます。

■フローズ東糀谷

特別養護老人ホーム:160名／短期入所生活介護:20名／通所介護:18名／認知症対応型通所介護:10名

■アクア東糀谷

介護老人保健施設:100名／短期入所療養介護 ※空床利用／通所リハビリテーション:20名

■アミックス東糀谷

障害者支援施設:36名／短期入所:4名／生活介護:20名

■施設概要

- [施設名] サンタフェ ガーデンヒルズ ※複合施設の総称
- [開設日] 2007年4月1日
- [定員] 入所定員320名／通所定員68名
- [構造] 鉄筋コンクリート造／地下1階・地上10階建て
- [面積] 敷地面積8,220.67㎡／延床面積16,332.17㎡



【第Ⅰ講座】

松村 昌哉

(まつむら まさや)

社会福祉法人
善光会
サンタフェ総合研究所所長
事業戦略室室長



2012年社会福祉法人善光会入職後、事業戦略室での企画業務や、介護老人保健施設アクア東糀谷施設長等のマネジメント業務、介護ロボット研究室での介護ロボットの研究・導入～実証等、幅広く手腕を発揮する。17年10月「サンタフェ総合研究所」の設立に伴い、所長に就任。「スマート介護士」資格の創設をはじめ、メーカー等への開発支援や福祉施設向けの経営支援、関係省庁向けの調査報告などを行なう。

【第Ⅱ講座】

宮本 隆史

(みやもと たかし)

社会福祉法人
善光会 理事
最高執行責任者
統括施設局長
特別養護老人ホーム フローズ東糀谷 施設長



2007年社会福祉法人善光会入職後、特別養護老人ホームで介護職や現場のマネジメント業務に従事する。その後、グループホームの立ち上げや管理者を経て、新規に特別養護老人ホームを立ち上げて施設長に就任。現在、善光会が運営する施設の統括施設局長を務める。09年より介護ロボットの導入や、サイバーダインのHALの監修に関わり、各メーカーの製品をどのように介護現場で活用するのかを研究する。13年善光会内に「介護ロボット研究室」を設置、介護施設自らが介護ロボットの研究開発を行なう取り組みを推進する。16年に介護施設での人工知能の活用を目指し、「介護ロボット・人工知能研究室」に機能を拡張。現在は講演・セミナー講師などの活動も行なっている。総務省の標準的な医療介護データ利活用推進委員会にも参画。